



## スタティック ルート

スタティック ルートのウィンドウを使用して、SIP プロキシ サーバで使用するスタティック ルートを設定します。ダイナミック ルートは、ルーティング プロトコルとルーティング更新メッセージに従って自動的に計算されるネットワーク経由のパスを表します。スタティック ルートは、明示的に設定するネットワーク経由の固定パスを表します。スタティック ルートは、ダイナミック ルートよりも優先されます。

### スタティック ルートの検索

ネットワークに複数のスタティック ルートが存在する可能性があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定のスタティック ルートを検索することができます。特定のスタティック ルートを検索するには、次の手順を実行します。



(注)

ブラウザ セッションでの作業中、クライアント マシンの cookie により、検索 / 一覧表示の設定が保存されます。他のメニュー項目に移動してからこのメニューに戻るか、ブラウザを閉じてから新しいブラウザ ウィンドウを開くと、検索の設定を変更するまで、Cisco Unified Presence の検索の設定がシステムで維持されます。

#### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [スタティックルート] の順に選択します。

[スタティックルートの検索と一覧表示 (Find and List Static Routes)] ウィンドウが表示されます。アクティブ (優先) クエリーのレコードもウィンドウに表示される場合があります。

**ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、[ステップ 3](#)に進みます。

レコードをフィルタリングするかまたは検索します。

- 最初のドロップダウン リスト ボックスから検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リスト ボックスから検索パターンを選択します。
- 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。検索条件を追加すると、指定したすべての検索条件に一致するレコードが検索されます。検索条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した検索条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして追加したすべての検索条件を削除します。

**ステップ 3** [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスで異なる値を選択すると、各ウィンドウに表示する項目の数を変更できます。



(注) 対象のレコードの隣にあるチェックボックスをオンにしてから [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックしてから [選択項目の削除] をクリックすると、この選択で設定可能なすべてのレコードを削除できます。

**ステップ 4** 表示されるレコードのリストから、表示対象となるレコードのリンクをクリックします。



(注) ソート順序を逆にするには、必要に応じて、リストのヘッダーにある上向きまたは下向きの矢印をクリックします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

#### 追加情報

P.12-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## スタティック ルートの設定

この項では、Cisco Unified Presence データベースでスタティック ルートを追加または更新する方法について説明します。

### 手順

---

**ステップ 1** 次のいずれかのタスクを実行します。

- スタティック ルートを追加するには、[Cisco Unified Presence] > [プロキシサーバ] > [スタティックルート] の順に選択し、[新規追加] をクリックします。
- サーバを更新する場合、P.12-1 の「スタティック ルートの検索」の手順に従ってサーバを検索します。

[スタティックルートの設定 (Static Route Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** 表 12-1 の説明に従って適切な設定を入力します。

**ステップ 3** データを保存してスタティック ルートをデータベースに追加するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [保存] アイコンをクリックします（または、ウィンドウの下部に表示される [保存] ボタンをクリックします）。

---

### 追加情報

P.12-5 の「関連項目」を参照してください。


## スタティック ルートの設定値

表 12-1 で、スタティック ルートの設定値について説明します。関連する手順については、P.12-5 の「関連項目」を参照してください。

表 12-1 スタティック ルートの設定値

フィールド	説明
宛先パターン	<p>このフィールドでは、着信番号のパターンを指定します。</p> <p>ドット (.) を任意の 1 文字を表すワイルドカードとして使用できます。アスタリスク (*) は任意の複数の文字列を表すワイルドカードとして使用できます。</p> <p>ダッシュまたはハイフン (-) もパターン内の任意の場所で使用できます。</p> <p><b>ワイルドカードの使用方法</b></p> <p>電話機の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドットはパターン内の任意の場所に使用できます。</li> <li>アスタリスクは末尾だけに使用できます。</li> </ul> <p>IP アドレスおよびホスト名の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>アスタリスクはホスト名の一部として使用できます。</li> <li>ドットはホスト名のリテラル値の役割を果たします。</li> </ul> <p>エスケープ文字とアスタリスクの連続 (\*) は、リテラル (*) と一致するもので、任意の場所で使用できます。</p>
説明	このパラメータは、特定のスタティック ルートの説明を指定します。
ネクストホップ	このパラメータは、着信先 (ネクスト ホップ) のドメイン名または IP アドレスを指定するもので、完全修飾ドメイン名 (FQDN) またはドット付き IP アドレスを指定できます。
ネクストホップポート (Next Hop Port)	このパラメータは、着信先 (ネクスト ホップ) のポート番号を指定します。 デフォルト : 5060
ルートタイプ (Route Type)	このパラメータは、ルート タイプ (ユーザまたはドメイン) を指定します。
プロトコルタイプ (Protocol Type)	このパラメータは、このルートに対するプロトコル タイプ (TCP、UDP、または TLS) を指定します。
プライオリティ	このパラメータは、ルートのプライオリティ レベルを指定します。小さな値はプライオリティが高いことを示します。 値の範囲 : 1 ~ 65535
重み付け	このパラメータは、ルートの重み付けを指定します。このパラメータは、複数のルートのプライオリティが同じ場合に限り使用します。大きな値は、ルートのプライオリティが高いことを示します。 値の範囲 : 1 ~ 65535

表 12-1 スタティック ルートの設定値 (続き)

フィールド	説明
固有性の低いルートを許可 (Allow Less-Specific Route)	このパラメータは、固有性の低いルートを許可することを示します。
インサービス (In Service)	このパラメータは、ルートをアウト オブ サービスにするかどうかを指定します。   <b>(注)</b> このパラメータを使用すると、管理者は効率的にルートをアウト オブ サービスにすることができます (完全に削除してから再度追加する必要がありません)。
[ルートのブロック]チェックボックス (Block Route Check Box)	ルートをブロックする場合、このチェックボックスをオンにします。  デフォルト値：オフ

## スタティック ルートの削除

この項では、スタティック ルートの削除方法を説明します。

### 手順

- ステップ 1** P.12-1 の「[スタティック ルートの検索](#)」の手順に従いスタティック ルートを検索します。
- ステップ 2** 一致するレコードのリストから、削除するスタティック ルートを選択します。
- ステップ 3** スタティック ルートを削除するには、ウィンドウの左上隅のツールバーに表示される [選択項目の削除] アイコンをクリックします (または、ウィンドウの下部に表示される [選択項目の削除] ボタンをクリックします)。

スタティック ルートが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。スタティック ルートが使用中の場合は、メッセージが表示されます。

### 追加情報

P.12-5 の「[関連項目](#)」を参照してください。

## 関連項目

- [スタティック ルートの検索 \(P.12-1\)](#)
- [スタティック ルートの設定 \(P.12-3\)](#)
- [スタティック ルートの削除 \(P.12-5\)](#)

